

第3回石狩市自転車活用推進協議会 議事録

日 時 平成31年3月25日（月）14時00分～14時30分

場 所 市役所本庁舎2階 201会議室

出席者 石田眞二会長、小鷹雅晴副会長、笠松周悟委員、長谷川健一委員、梅本利男委員、岡田祥治委員、飛鳥謙一委員、谷口清委員、石塚裕也委員、作田和仁委員、岡茂委員、安保美佐子委員、飯尾徹委員、佐藤道代委員、佐藤洋一郎委員、中西章司委員

事務局 企画課交通担当課長 上窪健一、企画課交通担当主査 鈴木徹哉

傍聴者 2名

＝＝＝＝＝審議内容の記録（審議経過、質疑、意見等）＝＝＝＝＝

※ 以下の質疑・意見については、○は委員発言要旨、●は事務局発言要旨

1. 開会

2. 議題

・パブリックコメント実施結果について（※事務局より説明）

・石狩市自転車活用推進計画書について（※事務局より説明）

●パブリックコメント実施結果について <資料1>

●石狩市自転車活用推進計画 <資料2>

●石狩市自転車活用推進計画【概要版】 <資料3>

【質疑・意見】

○パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果については、資料1の検討内容で回答しようと思うがよろしいか。

※委員異議なしとのことから承認された。

●資料2（本編）の修正は次の箇所である。

①4ページの「ホーム車、シティ車、スポーツ車などがどのような自転車か分からない」という意見があったので、表2-1で自転車の種類を整理して記載した。

②6ページの図2-5（年齢別目的別自転車トリップ）で、縦軸に単位が無かったので、「トリップ」の単位を入れた。

③8ページの図2-8（12時間自転車交通量）で使用しているデータは、2005年のデータであるが、このデータは入手できる最新のデータであるため、※のところで、「取得可能な最新データであるが、必要に応じて追跡調査を行う予定」と表記した。

④45ページの「自転車通行空間の整備形態の選定」のところで、前回、「自転車専用空間を新たに設けるには多額の費用と長い期間が必要となる」と記載していたが、このフレーズが、「非常に時間

がかかる寂しいフレーズだ」という意見があったため削除した。

また、同じページで「石狩市は積雪寒冷地でもあるため、基本的には車道混在で整備を進める」と記載していたが、「その理由をしっかりと説明したほうが良いのでは」との意見があったため、それを踏まえて、「積雪寒冷地で路肩が広く、自転車通行空間を確保できることから、早期に整備路線の連続性を確保できる車道混在として整備を進める」との表現に変更した。

⑤56 ページの図面は、前回は石狩市サイクリングマップの図面であったが、国土交通省より「サイクリング環境の整備を目指すモデルルートを設定して、地方版推進計画に位置付けるように」との通達があったため「サイクルツーリズムの取り組みとモデルルート」という図に差し替えをした。モデルルートは、石狩市役所、はまなすの丘ヴィジターセンター、道の駅あいロード厚田など主要拠点を結ぶ、約 120km の上級コースをモデルルートと位置付けした。なお、この図の大きな図面については、80 ページに掲載した。

●資料3（概要版）の修正は次の箇所である。

①石狩市の目指しているものをきちんと意思表示し、分かりやすく表現したほうが良いとの意見に基づき、「石狩市の目標」を見開きページの中央に追加し、目標は「自転車が安全快適に移動できる環境整備を進める」とした。

②目標1のネットワーク路線図は、市街地のみのネットワーク路線図としていたのを、全体のネットワーク路線図に変更した。

○石狩市の計画は完成すると、これから推進計画を作る地方自治体など、いろんな所から見られる機会が多いので、なるべく完成度が高い状態で終わらせたいと思っている。

大事なものは、この計画に則って、どれだけ施策を実施していく事が出来るかだと思う。絵に描いた餅に終わってしまうと、みんなの努力とアイデアが全部水の泡になってしまうので、今年度以降、この計画が出来上がってからの取り組みの方が大事になってくると思う。

○46 ページの矢羽根の関係であるが、市街地には歩道があるので、外側線と歩道の間に矢羽根を設置するのであれば、問題ないと思うが、郊外の歩道のないところでは、路側帯として考えると、自転車といえども、そこに入ってはいけないのではないかという感じがする。路側帯への矢羽根、外側線の引き方というのは考える必要があると思う。

●矢羽根の設置については、パターンを3つ示しているが、設置については道路ごとにそれぞれ検討する必要があると考えている。設置の際には、その都度、公安委員会、道路管理者と協議をして進めていきたいと考えている。

3. その他

●今後のスケジュールについて

今後は策定した目標について、それぞれ毎年しっかりフォローアップをしていく必要があると考えている。

73 ページ「計画の推進に向けて」のところに記載しているが、次年度以降、計画のフォローアップ協議会を行いたいと考えている。開催は年に1から2回を予定している。

内容としては、今回の取り組みの中で決定した案内表示の設置や、サイクリングロードのPR動画などを検討したいと考えている。

その検討には、集中的またスピード感を持って進めていくために作業部会のメンバーで進めたいと考えている。

○作業部会でスムーズに物事が決めれるように他の追加メンバーについては精査をした方が良いと思う。

○矢羽根の設置箇所については、交通管理者から指摘があったので、作業部会のメンバーに交通管理者も入った方が速やかにいくのではないかと思います。

●作業部会には、公安委員会にも参画してもらい今後は進めていきたいと考えているが、これに関して何か意見等あるか。

※委員異議なしとのことから承認された。

4. 閉会

令和元年5月28日 議事録確定

石狩市自転車活用推進協議会
会 長 石田 眞二